



すっかり秋も深まり冬将軍もすぐそこまで来ているのを肌で感じる今日この頃。鍋やお酒が美味しい時期になり体重計に乗るのも怖い日々を過ごしています。

さて今回は医療事故情報収集等事業 平成 19 年年報より発生分類についてです。



人工呼吸器ヒヤリ・ハット事例の発生分類

人工呼吸器に携わる方の多くは、何らかのヒヤリ・ハット事例を経験されたことがあるのではないのでしょうか？人工呼吸器のヒヤリ・ハット事例といっても、使用方法に起因する事故から故障に至るまで、幅広くあります。

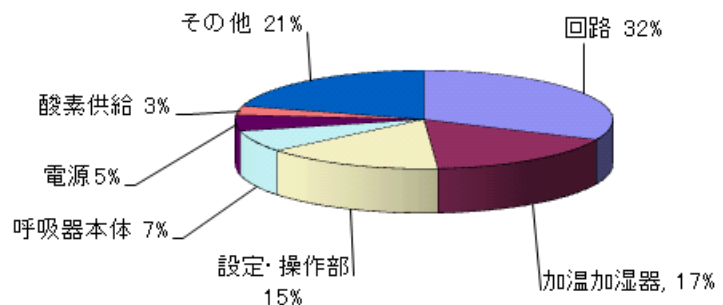
(財)日本医療機能評価機構による医療事故情報収集等事業年報では、これらを次のように分類して集計しています。

- 1.電源、2.酸素供給、3.回路、4.加温加湿器、5.設定・操作部、6.呼吸器本体、7.その他

H19 年年報によりますと、平成 19 年 1 月から 12 月末までの人工呼吸器ヒヤリ・ハット事例の報告件数は 170 件で、分類別では以下のとおりです。

分類	件数
電源	9
酸素供給	5
回路	54
加温加湿器	29
設定・操作部	26
呼吸器本体	12
その他	35
総計	170

人工呼吸器ヒヤリ・ハット事例 分類別割合



H19 年度は、中でも「回路」、つまり呼吸回路に起因するヒヤリ・ハット事例が多いことがわかります。(過去のデータでも際立って多いです)人工呼吸器を取り扱う上で、最も身近な部分であり、患者さんと人工呼吸器を繋ぐ呼吸器回路。**人工呼吸器を安全に、安心して使用する為には、まずは呼吸回路に関するヒヤリ・ハットがアクシデントに発展しない為にも、呼吸回路に重点を置くのが効果的**かと思われます。